平成29年度上期スケジュール　時間はいずれも13:00〜17:00 (6月11日は9:00〜17:00)

全7回	日程	会場	プログラム	
第1回	5月13日(土)	京都大学東京オフィス(新丸ビル)	■ Introduction ■ Team Up	■ シーズ概要紹介 ■ テーマ検討
第2回	5月27日(土)	日本橋ライフサイエンスハブ(コレド室町3)	■ トレンド分析	■ シナリオ・ライティング
第3回	6月10日(土) (DAY1)	京都大学 吉田キャンパス	■ アイディエーション (課題 × シーズ)	
	6月11日(日) (DAY2)	京都大学 吉田キャンパス	■ シーズ探索	■ Team Building
第4回	6月24日(土)	都内ラボスペース	■ Prototyping講義	■ Rapid Prototyping実習
第5回	7月8日(土)	日本橋ライフサイエンスハブ(コレド室町3)	■ Lean Canvas講義	■ チーム作業　メンタリング
第6回	7月22日(土)	京都大学東京オフィス(新丸ビル)	■ プレゼンテーション	■ メンタリング
第7回	8月5日(土)	日本橋ライフサイエンスハブ(コレド室町3)	■ Demo Day	

※プログラム内容は状況により変更となる可能性があります。

2017年度 募集要項

- **募集人数**　各回25名　(最少催行人数16名)
- **対象者**　20代〜40代で、京都大学の知・研究成果シーズを生かした起業に本気でチャレンジする意欲のある方、又は、京都大学のシーズを生かした新事業を本気で立ち上げる意欲のある方(男女・国籍を問わず)。
- **参加費用**　25万円 /名　(教材費含む・消費税別)
- **提出書類**　履歴書、作文 (取り組みたいテーマ等記載。詳細は申し込みフォーム参照。面接をお願いする場合があります。)
- **募集スケジュール**　参加の申し込み締め切り　前期:2017年4月17日(月)17時
(上記締切日にかかわらず、定員になり次第締め切りとさせていただきますことをあらかじめご了承ください。)
- **問い合わせ先**　お問い合わせ、お申込みは下部記載の連絡先までお願いします。
- **申し込みフォーム**　https://goo.gl/forms/yyowcdh32Ptumshv2
- **場所**　京都大学東京オフィス　新丸ビル10F

本研修プログラムは文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」で得られた知見・ノウハウを活用して企画・運用されています。EDGEプログラムについては、以下URLをご参照ください。
http://edgeprogram.jp/

本研修において製作されたプレゼン資料その他の成果物の著作権その他一切の知的財産権は、主催者の意向に従います。
また参加企業及び受講生は成果物に関する著作者人格権を行使しないものとします。

問い合わせ先
京都大学産官学連携本部
イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門
venture@saci.kyoto-u.ac.jp

京都大学 KYOTO UNIVERSITY

2017

京都大学の知・研究成果(シーズ)を使った
若手事業推進者のための

京都大学 技術イノベーション事業化コース

Open Technology Innovation Course

実践ワークショップ

国内市場の成熟化、ビジネスの急速なグローバル化を背景に、「これまでにない何か」を形にして事業を創り出すことが求められています。起業家にとって、社会の課題を発見し、新しい技術やアイデアなどを用いて解決する方法を見出だせば、大きな事業機会の獲得につながります。また多くの企業にとって、自社だけでなく大学など外部の技術やアイデアを組み合わせて素早くビジネスとして市場に展開する能力は重要なテーマです。本コースは、京都大学の知・研究成果の事業化をテーマに、社会の課題を実際の京都大学の知・研究成果を用いて解決する事業創出のプロセスを進め、最終的に事業プランを作成・提案していただきます。私達は、新しいものは、異質な価値観を持つ人との議論する中から生まれると考えます。今後、ビジネスリーダーとして新規事業の立ちあげに関わる方だけでなく、すべての事業推進に関わる方にとって役に立つ経験になると思いますので、ぜひ、ご参加ください。
本コースは、京都大学と京都大学100%出資のVC子会社である京都大学イノベーションキャピタル株式会社による京都大学の知・研究成果の事業化を推進・支援するプログラムの一部を構成しています。

共催:　京都大学産官学連携本部
(イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門、出資事業支援部門)
京都大学イノベーションキャピタル株式会社

求む!
本気の人材!

本コースのねらい、特徴

1 実績ある仮説創出・検証プロセス

着眼がユニークで、現状の制約条件にとらわれない大胆なアイデアを創出するための実績あるプロセスを適用します。

- ・事業機会を大きく捉える
- ・将来の社会を展望する

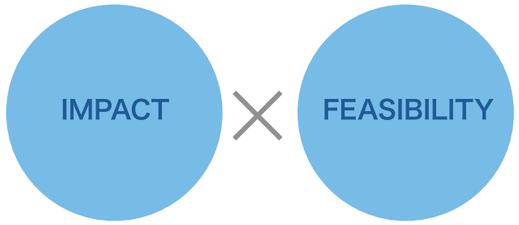
- ・ビジネスの構想（発散）
- ・ビジネスを可能にするシーズの探索

- ・ユーザー視点での検証
- ・ビデオ作製等プロトタイプおよびリーンキャンバス活用

- ・リアルかつシビアなビジネス化の追求
- ・実際の事業化に向けたフォロー開始

2 各種具体的手法の体得

専門家のファシリテーションにより、未来年表、リーン・キャンバス、ビデオプロトタイピング等、ビジネス仮説創出手法・顧客ニーズ検証手法を体得します。



大胆さと実現性可能性の両立

1 未来年表
2 トレンド分析
3 アイディエーション
4 テクノロジー探索・マッチング
5 ビデオプロトタイピング
6 リーンキャンバス
7 デモディでのエコシステムへのプラグイン

3 経験豊富な講師陣・メンター

他社の人材、コンサルタント、専門分野の研究者、技術者、ベンチャーキャピタル、経営者、マーケッターとディスカッションを通じて、社内では得られない知的刺激や異質な発想・価値観に触れる。

4 シビアな事業性の追求

デモデイでは、実際に投資家/事業会社の新規事業責任者に向けてプレゼンテーションを実施。『事業性』を厳しく評価すると共に、エコシステムにプラグインする。

5 フォローアップ ー インキュベーション

有望な取り組みにはコース終了後もメンタリング、京都大学の提供するファンドやインキュベーション施設の使用によりサポートを継続。

6 フォローアップ ー VCからの出資

本コースは、京都大学イノベーションキャピタル株式会社の京都大学の知・研究成果の事業化の取り組みに接続されており、有望な事業プランは、同社のファンドからの投資などの支援のもと、コース終了後も実現を推進可能。

講師、メンターの紹介

木谷 哲夫 講師 きたに てつお
京都大学産官学連携本部IMS寄附研究部門教授
東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了(MA)、ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA。日本興業銀行、メリル・リンチ(NY)、マッキンゼー、アリックス・パートナーズを経て現職。マッキンゼーでは、アソシエートプリンシパルを務め、金融機関・自動車・機械・ハイテク産業での新規事業戦略の立案・オペレーション改善に従事した。研究領域は企業戦略、ベンチャーファイナンス、リーダーシップ論。九州大学大学院客員教授、龍谷大学経済学部客員教授。大阪市特別参与、大阪府特別参与など歴任。著書に「成功はすべてコンセプトから始まる」(ダイヤモンド社)、「独裁力」(ディスカバー21)など。

田村 大 講師 たむら ひろし
株式会社リ・パブリック共同代表、東京大学i.school共同創設者エグゼクティブ・フェロー
東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。人類学的視点から新たなビジネス機会を導く「ビジネス・エスノグラフィ」のパイオニアとして知られ、現在は、地域や組織が自律的にイノベーションを起こすための環境及びプロセス設計の研究・実践に軸足を置く。著書「東大式世界を変えるイノベーションのつくりかた」(早川書房)など。情報処理学会学会誌編集委員、International Journal on Multi-disciplinary Approaches to Innovation編集委員等。

平川 敦士 メンター ひらかわ あつし
日本ベンチャーキャピタル株式会社(京都大学ベンチャーファンド1号運営事業者)
ベンチャーキャピタリスト
監査法人、外資系戦略コンサルティングファームを経てベンチャーキャピタルへ転身。これまで、財務戦略やM&Aを中心に多数の大手企業に対するコンサルティングに従事。現在は、ベンチャーキャピタリストとして新サービスを中心に育成・支援に主眼を置いた投資スタイルで活躍。大手、ベンチャー問わずM&Aについての知識、経験、実績が豊富であり、シリコンバレー、アジアのネットワークも多数もつ。税理士資格保有。

五ノ坪 良輔 メンター ごのつぼ りょうすけ
京都大学イノベーションキャピタル
プリンシパル
商社の投資・事業開発部隊で国内事業投資、M&A、ベンチャー投資を支援。
ビジネススキーム構築、事業計画策定等、新規事業立上の総合的支援を行う。
自らも電気自動車充電サービスやスマホアプリ等の事業を立ち上げる。
京都大学法学部卒。カーネギーメロン大学MBA。

古我 知史 講師 こが さとし
ベンチャーキャピタリスト、株式会社チームクールジャパン 代表取締役
龍大経済学部客員教授。早大政経卒。
モンサント、シティバンク、マッキンゼー&カンパニーを経て、ウィルキャピタルマネジメント株式会社、株式会社チームクールジャパンを創業、代表取締役。独立系キャピタリストとして累計60社を超えるスタータップからバイアウトまでの投資と事業開発の現場に参画してきた。アニコムホールディングス㈱、㈱フォリフォリ・ジャパン、㈱卑弥呼、イオンペット㈱、㈱ノンストレス、㈱Ｔｏｏ、㈱セルム等の独立取締役、また、㈱衛星放送協会理事、大阪府市統合本部特別参与、九大大学院客員教授などを歴任。著書に、「着眼の技法」、「もう終わっている会社」(ディスカバー２１)、「戦略の断層」(英治出版)など。

瀧本 哲史 メンター たきもと てつふみ
京都大学客員准教授・エンジェル投資家
東京大学法学部卒。同大学院法学政治学研究科助手を経て、マッキンゼーで主に新規事業、投資プログラムのコンサルティングを行う。15年以上エンジェル投資(創業期における自己資本投資)を行い、IT、リサイクル、医療機器、コンテンツ、マテリアルなど幅広い業界に投資し、exit実績多数。京大では「キャリアとしての起業戦略」「ベンチャー企業のための交渉ワークショップ」などを担当。主な著書に「僕は君たちに武器を配りたい」(ビジネス書大賞)「武器としての決断思考」「武器としての交渉戦略」「君に友だちはいらない」「戦略がすべて」など。

尾原 和啓 メンター おばら かずひろ
シンクル事業長、執筆・IT批評家、Professional Connector
経産省　対外通商政策委員、産業総合研究所人工知能センターアドバイザー
京都大学院で人工知能を研究。マッキンゼー、Google、ｉモード、楽天執行役員、2回のリクルートなど事業立上げ・投資を歴任。現在13職目 、パリ島をベースに人・事業を紡いでいる。ボランティアでTED日本オーディション、Burning Man Japanに従事するなど、西海岸文化事情にも詳しい。
シンクルはApple 2016年ベストアプリ10選に。著書 「ザ・プラットフォーム」(NHK出版新書)はKindle、有名書店一位のベストセラー。

プログラム内容

活動テーマ

京都大学の知・研究成果(シーズ)の事業化提案

- 京都大学のシーズを活用し事業化する提案をしていただきます
- 各グループの提案は、ベンチャーキャピタリストに提案/実際に投資判断をしていただきます

対象領域 ■ 農業、食品ビジネス(機能性食品) ■ ヘルスケア ■ 医療関連 ■ 新規素材 ■ 環境・グリーンテック・エネルギー
※研究及び市場の最新情報により変更する可能性があります。

事前課題

- シリアル・イノベーター「非シリコンバレー型」イノベーションの流儀
  (監訳：市川文子、田村大)
- 成功はすべてコンセプトから始まる(著：木谷哲夫)
- 着眼の技法(著：古我知史)
- 関連する記事検索
- 関連する専門書籍など

※詳細は、別途受講生様にご案内させていただきます。